

令和2年

総務委員会

8月6日

豊明市議会

総務委員会会議録

令和2年8月6日

午後2時22分 開会

午後2時56分 閉会

1. 出席委員

委員長	近藤郁子	副委員長	服部龍一
委員	中村めぐみ	委員	宮本英彦
委員	近藤千鶴		
議長	毛受明宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木美智雄	議事課長	塚谷友昭
議事担当係長	寺島慎二	議事課主事	松林淳

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
行政経営部長	藤井和久	市民生活部長	馬場秀樹
行政経営部次長	古田範明	財政課長	萩野昭久
防災防犯対策課長	塚田力	防災防犯対策課主幹	羽場浩一郎
公共施設管理室長	中田勝次	公共施設管理室長補佐	北川宜志
財政課長補佐	浦倫彰	防災防犯対策課長補佐	前田泰之
防災防犯対策課長補佐	松本裕介		

5. 傍聴議員

堀内ちほ	いとうひろし	林ゆきひろ	ごとう学
近藤ひろひで	三浦桂司	青木亮	郷右近修
清水義昭	一色美智子	鵜飼貞雄	月岡修一
ふじえ真理子	近藤善人		

6. 傍聴者

なし

午後2時22分開会

○総務委員長（近藤郁子議員） ただいまより総務委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 本日の総務委員会に付託されました案件は1議案でございます。

慎重なる審査をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長（毛受明宏議員） 本日の総務委員会は議案第79号の一般会計補正予算でありますので、慎重審査よろしくお願いいたします。

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議はございませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おきをいただきますようお願いいたします。

（市長退席をなす）

○総務委員長（近藤郁子議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされますようお願いいたします。

中村委員。

○中村めぐみ委員 議案第79号について、防災倉庫設置場所の図面と防災倉庫イメージ設計図の資料を請求いたします。

○総務委員長（近藤郁子議員） イメージ設計図。

（はいの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 図面とイメージ設計図ですね。

中村委員から、議案第79号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第11号）について、資料請求がありました。

今、中村委員より、資料請求の趣旨説明をお願いしたいと思います。

○中村めぐみ委員 内容としましては、防災倉庫設置場所が適正であるか知るために設置場所の図面、それから、どのような倉庫が造られるのか、設計図があったほうがイメージがしやすいと思うので、そのイメージ設計図があればお願いしたいなと思います。

○総務委員長（近藤郁子議員） 当局において資料は用意できますか。

中田公共施設管理室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） 用意できます。

○総務委員長（近藤郁子議員） どのぐらいの時間を。

○公共施設管理室長（中田勝次君） 5分ほど頂戴いただければと思います。

○総務委員長（近藤郁子議員） お諮りいたします。本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○総務委員長（近藤郁子議員） 賛成全員です。

では、当局において、速やかに資料の用意をお願いいたします。

中村委員にお聞きいたします。5分程度ということですが、先に進めても大丈夫でしょうか。

○中村めぐみ委員 はい。

○総務委員長（近藤郁子議員） それでは、議案第79号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第11号）についてを議題といたします。

本案につきまして、理事者の説明を求めます。

中田公共施設管理室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） それでは、公共施設管理室所管の補正予算について、歳出予算の御説明をいたします。

補正予算書の6、7ページを御覧ください。6、7ページの上段の枠でございます。

2款 総務費、1項7目 4 公共施設管理事業の右の説明欄のうち、防災倉庫設置工事費1,455万9,000円は、小学校計5校に増設する防災倉庫設置工事費用であります。

以上で公共施設管理室の所管分の説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 塚田防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 続きまして、防災防犯対策課が所管するものについて御説明いたします。

同じく補正予算書 6、7 ページの下段を御覧ください。

9 款 消防費、1 項 4 目 災害対策事業の消耗品費 837 万 2,000 円の増額計上につきましては、災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、体育館や教室で避難者の方が避難生活で使用するための段ボールベッド、段ボールパーティションを配備するための経費が主なものとなります。

市内の大手製紙会社様とのこれまでの災害協定により、段ボールベッド等を発災後に発注し、配備していく流れとなっておりますが、パーティションは避難者の新型感染症対策やストレス軽減のため、あらかじめ避難所ごとに必要数を配備し、段ボールベッドについても必要一定数を配備しておくためのものがございます。そのほかには、これから第 2 波、3 波の影響が心配される中、市民の方々には在宅避難を基本としていただくよう広報活動に努めているところでありますが、災害が発生、またそのリスクが高まった場合、まず市民の皆様は、自宅が危険な場合は迷うことなく避難していただくため、指定避難所等を使用する消毒液、非接触体温計、マスク、フェースシールド等を増強備蓄していくためのものがございます。

以上で説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 萩野財政課長。

○財政課長（萩野昭久君） 続いて、財政課所管部分について御説明申し上げます。

4 ページ、5 ページをお願いいたします。

歳入、18 款 繰入金の財政調整基金繰入金 2,615 万 5,000 円は、このたびの補正予算の一般財源となるものです。

以上で説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

中村委員。

○中村めぐみ委員 まず、今回、この緊急議会を開くことになった理由が、先ほど議場の質疑でもあったと思うんですけども、ごめんなさい、私がちょっとあまり理解ができなくて、ちょっともう一度質問をさせていただきたいと思うんですけども、消耗品のほうの備蓄の必要性が分かったのが 5 月下旬頃、5 月下旬頃から、市の職員の訓練とか学校と協議とかをして、7 月の緊急議会には間に合わなかった、協定を結んでいるんだけども、短期的な避難の状況が起こった場合に、短期的ではそこからの物資の供給が受けられないので備蓄をする必要があったという判断で合っているのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 先ほど議場のほうでも御説明いたしましたが、5月のほうには記者会見をして市のほうの基本方針を定めました。その後、避難所での体育館、小中学校大きさが違います、それぞれに、どういった形で皆さんの距離を置いた形でスペースをつくるか、その中にパーティションを全てに配備したっていいんじゃないかという意見等、職員の中で重ねました。そういったことを踏まえまして決めていきました。それで、必要数が決まったと同時に職員のほうに、避難所開設職員のほうに、その取扱い等、受付の方法、問診票の取扱いの方法を同時に行い、受入れの体制が整った時点の職員のほうの体制は整いました。その後、学校側のほうに、備蓄しておくところのスペース、今の防災倉庫の中には結構許容が目いっぱいになってますので、その中に段ボール系のものを保存することは不可能なので、どこに保管させていただくかの学校との協議をさせていただいて、今回この緊急議会になったんですよ。ですので、7月のときの緊急議会にはちょっと間に合わなかったというのが1点。

それと、短期的なものというのは、今までですと、発災後に市内の大手の会社様のほうに発災後に頼むと、段ボールベッド等を作成して、パーティション、それから納品していただくので、1週間か2週間のスパンは空きます。そうしますと、その間にコロナウイルス対策とかで高齢者の方が避難した、水害とか大雨とかがあったときに避難してもらったときに、いるときに生産してもらったら間に合わないので、その間、コロナ対策のことからもパーティションは先に配備しておこうという形が決まったということです。

以上となります。

○総務委員長（近藤郁子議員） 他にございませんか。

今、すみません、資料ができたようなので、先に、じゃ、配っていただいて、中村委員、その後をお願いいたします。

中村委員にお聞きいたします。よろしいですか。今手を挙げられたのは、先ほどの7月の議会に間に合わなかったのはなぜかという質問の回答についての挙手ですか。

○中村めぐみ委員 ではないです。また別の質問についての。

○総務委員長（近藤郁子議員） では、先にこの説明をもらっても大丈夫ですか。

では、すみません、今の資料につきまして説明願います。

中田室長、お願いいたします。

○公共施設管理室長（中田勝次君） それでは、議案第79号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第11号）における資料請求のうち、公共施設管理室所管分について御説明いたします。

お求めいただいた図面については、防災倉庫イメージ設計図及び防災倉庫設置場所図面ということでございます。今お手元に図面が6枚ついております。御覧ください。

まず、1枚目が防災倉庫の、お求めのありますお名前というイメージ設計図というものになります。A4の横1枚がイメージの設計図とさせていただきます。

2枚目から6枚目が、今回設置します各学校の配置図でございます。まず2枚目、まずは中央小学校になります。3枚目が沓掛小学校、4枚目が大宮小学校、5枚目が三崎小学校、最後、6枚目が舘小学校で、少し見にくいかもしれませんが、黒塗りの四角が塗ってあるところ、それで、文字の引き出しで設置予定地と書いてあるところに設置予定ということに現時点はなっております。

以上で、公共施設管理所管分の資料請求に対する説明を終わります。

○総務委員長（近藤郁子議員） では、質疑のある方は挙手を願います。

中村委員。

○中村めぐみ委員 防災倉庫設置工事についてなんですけれども、先ほど議場でもいろいろなものと比較協議した結果、建築、設計委託をして建築することになったというお話をいただいたんですけれども、そこら辺のことをもう少し詳しく説明をお願いいたします。

○総務委員長（近藤郁子議員） もう一度確認をいたします。建築設計を出すことについての説明ですか。

○中村めぐみ委員 と、既製品との比較について、どのような協議がなされたのか、もう少し詳しく内容の説明をお願いします。

○総務委員長（近藤郁子議員） 協議内容の説明を。できますか。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） まず、委託料、建築確認申請が必要というものなんですけど、こちらに関しては、今回の倉庫が16平米、16平方メートルほどの倉庫でございます。これは建築物ということで扱われておりますので、建築基準法上必ず確認申請が必要なものですので、申請をさせていただくということになっております。

もう一点は、ほかと比較をという話だったと思いますが、それに関しましては、現場では組み立てないコンテナのようなものとも比較をしたんですけど、費用の面だとか、現場に持ち込む、組み立ててきたものなので、現場に搬入できるのかどうかということも含めて検討いたしました結果、今回の形とさせていただいた次第です。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 まず、防災倉庫についてですけど、1点目は、三崎小学校は、高い木を2本切らなきゃいけないということなんですけど、これに要する費用の予算はおおよそ幾らぐらいを見積もってみえるのか。それと関連して、16平米の防災倉庫の1棟当たりのおおよその予算。この2点、まずお願いします。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） まず、三崎小の高木に関しましては、おおむね200万ほど、2本の大きな木なんですけど、15メートルほどの木なんですけど、おおよそ200万ほどを予定しております。

もう一点の御質問、ごめんなさい、もう一度。

（1棟当たりの声あり）

○公共施設管理室長（中田勝次君） 1戸当たりですか。失礼しました。

1戸当たり、これは設計とか委託料も全部含めてという理解で。

（いや、工事費だけでいいですよの声あり）

○公共施設管理室長（中田勝次君） 工事費だけですか。工事費だけですと、1戸当たりが240万ほどでございます。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 あと、1棟当たり約16平米なんですけど、受注生産ということですので、16平米を割り出した根拠、これよりも大きいのであってはいかんし、16平米が適切だと判断されたと思うんですけど。

○総務委員長（近藤郁子議員） 塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 16平米という、決めさせていただいた根拠なんですけど、今現在小学校にあるタイプと同等の大きさとなります。中に配備するものなんですけど、結果的に同じ大きさになったということだけなんですけど、今私どもが考えている段ボール製のパーティションとベッドのほうを配備するに当たって、それだけの大きさが必要だということで、その大きさと決めさせていただいております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 冒頭、最初に言われたのはどういう意味、今の小学校と同じサイズ。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） タイプ的に、中学校と小学校の防災倉庫には大きさがちょっと違いまして、中学校のタイプはちょっと大きいんですよ。今ある小学校に防災倉庫があるんですけど、その今ある防災倉庫と同じぐらいのサイズのものが16平米の今回のサイズとなります。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 じゃ、今ある防災倉庫と基本的には同じようなサイズ。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

○宮本英彦委員 ということは、逆に言えば今ある……。

○総務委員長（近藤郁子議員） すみません、やり取りを。

○宮本英彦委員 違う違う。まだ続きなん。

今ある防災倉庫の小学校にあるのは、基本的に9校全部同じですか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 同じ大きさと、小学校は同じ大きさです。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 基本的なことになってしまっていて申し訳ないんですけど、建築の確認の申請が必要っていうのは、建築をしなければそれができないのか、既製品であるものを持ってきても、特に申請するのに何か問題が出るというわけではないという理解でいいんですよね。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） たとえ既製品であったとしても、この規模のものになりますと建築物と、いわゆる土地に置いてしまうと建築物ということで扱われてしまいますので、既製品であってもオーダーの組立てであっても、建築物ということで扱われてしまいますので、よって確認申請が、建築基準法の確認申請が必要ということでございます。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 今ある小学校の防災倉庫と同じサイズということですが、あれってプレハブの防災倉庫じゃないんですか。少なくとも私の経験では、中央小学校はそんな設計基礎を打って、打ったような立派な防災倉庫じゃないんだけど、プレハブなんですけど、9校全部一緒ですか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 造り方の構造的なものではなく、大きさが同じタイプですという意味です。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 それと、5校のうち中央小学校だけ、運動場、屋内運動場からえらい離れておるんですね。これは入ったところの駐車場の端っこなんですよ。ここだけは、これ、話合いの結果こうなったということだろうと思いますけど、あとの小学校は全部屋内運動場のそばなんですよ。それで、中央小学校も屋内運動場の前に防災倉庫が1個あるんですよ。その横、空いておるんですけど、ここが、ここになっただけさつというのは分からないですか。というのは、防災倉庫が運動場からあまりにも離れておると、防災倉庫としての機能が低下する。便利さが、利便性が非常に悪いと思うんですけど、そこら辺の理由は分かりますか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 議員がおっしゃるとおり、災害時にグラウンドの近くか体育館の近くのほうにあるのが、いつも最もベターだと考えております、私ども。学校のほうに、今回中央小学校につきましては、候補地としまして、私ども、現地のほうに伺いまして何か所か見まして、こことかはどうですかという話とかをさせていただいて、図面等で学校のほうに一旦お投げする形をさせていただきました。その結果、学校のほうでも、学校の教育上の、児童さんたちと生徒さんたちとの何か対面的なもの、動線的なものとかがあると考えられますけれども、学校のほうで最終的に、こちらのほうでならオーケーですよと出されたのが今回の設置場所となっております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 最終的に学校の意向が強く働いたんだろうと思いますけれど、私の経験では、今、屋内運動場の、この運動場の敷地との間のその細いところに現在も防災倉庫があるんですね。その横、ずっと空いておるものですので、学校としてはそれは、一番ここが空いているから、遠いところが一番いいだろうと、そんな感じですので、どうも防災上はいかなもんかなというのがちょっと印象的にありますけれど、設置場所については今さら駄目だと思いますので、そういうことを一言申し上げますけれど、ただ、1棟当たり240万ということの予算ですけれど、この図面を見ますと、引き戸の出入口があってということで、この16平方メートルの面積で大体段ボールは、これ、全部収まるのか、あるいはまだ余力があるのか、そこら辺どうですか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 倉庫内のほうに、今回購入するメインの段ボールベッドとパーティションのほうを、大きさ的に寸法的に採寸してレイアウトしております。そうしましたら、今回購入する分で買ったやつは中に全て収まります。そこに少しスペースができます。そのスペースの部分につきましては、人が通る動線とかもあるんですけども、今ある防災倉庫にあります、一番スペースを取っている毛布、毛布のほうをこちらのほうに幾つか移動させて、既存のほうの防災倉庫のほうについても、取りやすく利用がしやすい形に再度見直したいということも考えております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 防災倉庫が既製品かどうかというお話で、道路とかの搬入とかの問題があるということをお聞きしたんですけれども、それについては今回新しく造る5校について、全て搬入が難しい状態なのかどうか、お願いします。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） 先ほど申しました、工場で組み立ててきた同等規模のコンテナをそのまま車等に乘せて持ち込む場合におきましては、こちらについては全て、広い狭いというのがあるとは思いますが、高低もありますし、斜路、高低もありますので、難しいかなということで判断をしております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 では、1棟当たり約16平米とのことだったんですけれども、そのサイズが大きいのであれば、1棟ではなくて、8平米のものを2棟設置するというようなことは考えなかったのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君） 一応規模のほうは、先ほど防災防犯対策課から御希望があってこのサイズということで、2つに分けるのかってという話も一部上がってはいたんですけど、やはり中に入れる資材のバランス、配置等もございますので、1つにできればということでもとめたいということでしたので、今回1つ、1個で16平米のものを配置するという事にいたしました。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 中に入れるもののバランスだったり要望だったりというところも分からなくもないんですけれども、それについての協議を、学校ともそのような、市と1棟でなくて2棟でもよいとか、既製品が設置できるかという協議は、学校との協議もそのような内容のこともされているのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 委員のおっしゃります、今回の倉庫を2つに分けるとか、大きさとか、指標のほうにつきましては、学校のほうとは協議はしておりません。内部のほうで、私のところのほうでこういった形のほう決めております。学校のほうとは、最終的にこういった倉庫を入れたいので、場所のほうの協議はさせていただいております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 今回のこの建築ということになると、スケジュールというのはどのように進められる予定なのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君）　今回はお認めいただければ、直ちに設計委託の準備、発注、入札のほうに入っていきます。8月のお盆少し過ぎぐらいに契約をして、恐らくですが、11月中頃までに設計を全て確認申請まで終わらせます。終わらせるという予定です。契約、その後工事のほうの入札契約が恐らく年内、12月の半ば頃かなと。工事は3月の半ば頃に遅くとも終了させたいというふうに、学校の卒業式には間に合わせたいかなというふうに思っております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員）　ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員　その場合、各小学校や中学校、高校、授業の妨げになるようなおそれはないのでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員）　答弁願います。

中田室長。

○公共施設管理室長（中田勝次君）　土日の搬入とか、その分ほかの日には作業は休んでいただくことになるんですけど、学校の授業、運営には支障ないように進めていきたいと思っております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員）　ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員　単純な質問で申し訳ないですけど、パーティションが2種類あるんですね。1つは組立て、組立てパーティションと普通のパーティションは何がどう違うんですか。2つとも組み立てるんじゃないんですか。

○総務委員長（近藤郁子議員）　答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君）　2つ、2種類あるんですけど、今回の場合、組立てパーティションと、今まであったタイプのパーティションが組立てパーティションで、新しく今回、新しいタイプのやつが普通のパーティションというふうな区分になっております。組立てのほうは古いほうなんですけど、それは組立てにちょっと時間がかかるのが、昔のタイプが組立てタイプで、3辺の、3枚の段ボールをコの字型に置いて、接続するところにまた小さめの段ボールをちょっとロックするような形で作ってやるのが組立て式のパーティション。もう一つの普通のパーティションという数が多いほうにつきましては新しいタイプで、7辺、長い段ボールを7つに折れるような形になっていまして、ばたばた

ばたと折りますと1つの長方形ができます。それを避難所にぱっと広げるだけで、一边を2つの辺だけにすると、1、2、3、4、5、6、7で、入り口が1つ空いている。分かりますかね、説明が。1辺に2辺ずつ来る。2つの折り目ずつが来て、後ろが2個、横が2個、2個、それで前が1個だけでそこが入り口となるタイプがパーティション。本当に広げるだけのタイプが組立てとは書いていないほうです。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 突っ込んで悪いですけど、その6つに折り畳んであるやつ、ぱっと広げやそれでパーティションなるやつですね。これがパーティションだよ。その割に面積というか、何か小さいんだけど、組立てのほうが1,700、これは高さだと思うけど、1,200と1,150、何かサイズがあまり変わらないんだけど。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。まだいい。

○宮本英彦委員 先ほどの質問でいけば、出来上がっておるパーティションをぱっぱっと開くだけなら、最初からもっと幅が広いんじゃないかと思うんだけど。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 資料のほうの、段ボールベッドの梱包サイズのところ、ベッドの下のパーティションとは1,500、1メートル50センチとあるんですけど、これが高さとなります。1,150、1メートル15センチが横長の長さですね。それが2つ来て2メートル30が1辺、1つの辺。それをだだだっと重ねると5センチの厚さになるよということになります。それで、組立てパーティションにつきましては、広げた段階で1,700と1メートル20センチで、厚みとしては全部を重ねると3センチという形になりますので、梱包したときのサイズがここに書いてあるというふうに思っていたけるといいかなと思います。

（梱包サイズかの声あり）

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 梱包サイズです、これ。広げるとまた違いますので。

よろしいでしょうか。以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 この防災倉庫なんですけれども、地震や洪水、火災など、災害が発生しても被害を受けにくい場所に置いておくことが一般的であって、さらに三崎小学校にあ

っては木の伐採をして整備をするとのことなんですけれども、もちろん運動場から近いところにあるとか、体育館、避難所から近い場所というところも考えられるんですけれども、三崎小学校の近くには豊明中学校、杓掛小学校の隣接している豊明高校と、高校、中学校があるんですけれども、そこについては、頂いた資料では既存の教室を活用というふうに書いてあるんですけれども、その倉庫の設置自体、新たにしなくても、そちらのほうを活用させていただく、移動できない距離ではないと考えるんですけれども、そのようなことはどうなんでしょうか。

○総務委員長（近藤郁子議員） 答弁願います。

塚田課長。

○防災防犯対策課長（塚田 力君） 今回既存の教室を活用というところで、資料のほうの中学校のほうが全てそういう形になっているかと思います。それで、議員がその御指摘だと思うんですけれども。中学校のほうにつきましては、今ある教室等で防災倉庫として段ボールベッド等を保存させていただけるところを提供願いますということをお願いしたら、中学校のほうがこの教室を使ってくださいということで提案がありましたので、そちらのほうへ段ボールベッドのほうを入れます。三崎小学校につきましては、新たに防災倉庫のほうを設置するという形で、同じく杓掛小学校についても、杓掛小学校で、1つの避難所に1か所、1個を造りたいというのが市のほうの考えですので、そういった形です。杓掛中学校につきましても学校のほうで、こういったところに保存するという形となっております。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

（質疑、まだの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 手が挙がらなかったので終結いたしました。

討論のある方は挙手願います。

中村委員。

○中村めぐみ委員 討論ですよ。

○総務委員長（近藤郁子議員） 討論です。

○中村めぐみ委員 議案第79号 令和2年度豊明市一般会計補正予算書（第11号）について、苦渋の判断ですけど、賛成の立場で討論をいたします。

本会議のほうで詳しく討論はさせていただきますが、既製品とコンテナとの比較検討に

ついて、もう少しやはり費用の面からしても、もう少し費用の面からしても、学校との協議との関係についても、やはり何を一番優先するべきかを考え協議をしていただきたい、もう少し協議を重ねていただきたいという点。

それから、先ほどこちよっと質疑ができなかったんですけども、消耗品についても、今日議決されて、確保をしていただくということになるんですけども、多分単価が高くなったり、納期遅れという部分が出てくる危惧もあるので、そこら辺のことを早急にお願いしたいなと思います。

以上です。

○総務委員長（近藤郁子議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第79号は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第79号は全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査を終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書につきましては私に御一任願えますでしょうか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（近藤郁子議員） ありがとうございます。

委員会報告書につきましては例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて総務委員会を閉会いたします。

午後2時56分閉会